

2019～2020 部長方針・活動計画

中部部長 小林滋樹(名古屋南山)

1. 部長主題

「輪を拡げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」

2. 活動方針

人と人とのふれあい、言い換えればコミュニケーションがますます重要視されている現代社会の中で、言われている割には希薄で表面だけのものであり、本当のふれあいとは何であろうか、と思うことがよくあります。一人の人間を認めることにより自らの人間性を認めること、言い換えれば他の人への思いやり、それを通して色々な人への思いやりの心を育むこと、それがワイズメンの求める奉仕の心であり、その心を大切に社会に奉仕し、仲間とともに成長していくことこそワイズメンズ活動のすばらしさと考えています。しかしながら現在の中部のワイズメンズ活動は十分その価値に似合う活動をしているかは疑問です。

中部のワイズを根本に立ち返って今一度楽しい生きがいを見いだせるワイズ活動にしたい、そんなことを考え以下のような活動を部長として進めたいと思います。

1、例会重視の活動

ワイズメン活動の一番は各クラブの毎月の例会であり、その例会を通して様々な活動計画を企画し、実施していくことです。楽しい例会、そのためにはある程度のメンバー数が必要であり確保しなければなりません。しかしながら目下の多方面にわたる色々な社会情勢のもと急な増加は求められない状況です。例会での活動を社会にアピールすることで会員増強の手段にしたいと思います。YMCA とより密接な関係を深め、YMCA に連なる人たちをワイズメンとしてともに活動できないだろうか、と模索したいと思います。

2、ワイズメンズクラブとしてのブランディングを図ること

ワイズメンズクラブの持つ色々な特色をもっと前面に出す活動、例えば国際性などです。インターナショナルとはいいながら中々その特色を社会にアピールできるプログラムがないことです。各クラブそれぞれブラザークラブなどいろいろ活動しているにも関わらず十分社会にアピールしている状況ではありません。メディア、ネットを通してもっと部全体でアピールできる状況を作りたいと思います。

3. 各事業の活動計画

1. YMCAサービス・ユース事業

YMCAと連携を密にし、青少年教育、特に子供たちの野外活動などを援助に力点を置く。健全な野外教育をYMCAが進めることを援助し、YMCAのブランドを確立させる。それによりワイズ活動を一步でも前進させるようにする。

事業例：バザー、国際協力募金、キャンプ、デイキャンプ、クリスマスキャロルなど

2. 地域奉仕・環境事業

各クラブの状況に応じてそれぞれの地域でのこれまでの活動をさらに発展させ、新しいプロジェクトを展開できるよう支援する。

事業例：地域を対象としたコンサート、地域市民との共同の活動、環境保全活動など。

3. EMC事業

中部各クラブにおいては、EMC活動がさほど効果を上げているとは言えずメンバー数も減少傾向にあります。活動メンバーが少なければワイズ活動も十分な成果が望めない状況なのでメディア、YMCAなどにアピールしメンバー増強に力を入れる。

事業例：各クラブの活動状況を広く公表し、理解を求め参加できるよう働きかける。

4. 国際・交流事業

ワイズメンズクラブ活動の最も重要な課題の一つであるインターナショナルリティが最近薄れつつある傾向にある。国際性と国際理解がないとワイズ活動はあり得ない。各クラブでのIBC,DBC活動を活気づけ、色々な人の交流を密にし理解を深めたい。

事業例：IBC,DBC訪問、IBCの新規開発など

5. メネット事業

現在中部では積極的な活動をしているメネットクラブを持つクラブはほとんどなく、メネット事業自体の理解度はあまり高くない。メンのサポートとしての働きか、独自の活動なのかが理解されていない面もあるので再確認したい。

4. 部行事予定

2019年9月8日（日） 中部部会

5. 部役員

部長	小林滋記	名古屋南山
次期部長	未定	名古屋グランパス
直前部長	柴田洋次郎	名古屋東海
書記	荒川文門	名古屋南山
会計	杉山弘時	名古屋南山
連絡主事	東田美保	名古屋南山
監事	山内ミハル	金沢
事業主査		
Yサ・ユース	谷川 修	名古屋
地域奉仕・環境	浅井 昭和	名古屋南山
EMC	鷲尾 文夫	名古屋東海
国際・交流	松原 行謙	名古屋グランパス
メネット	深尾 俊雄	名古屋南山
クラブ会長		
金沢	山内 ミハル	
名古屋	深谷 聡	
名古屋東海	山村 喜久	
名古屋南山	都築 正和	
四日市	<u>2019/6 末にて解散</u>	
名古屋グランパス	吉田 一誠	
津	亀野 貞	
金沢犀川	<u>2019/6 末にて解散</u>	
とやま	清水 淳	